

# チャレ\*くま通信

「チャレ\*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です

## 就職活動情報

▽今月は1名の方が就職されました。自動車部品メーカーの事務補助業務です。おめでとうございます。自分に合っている環境での仕事を見つけていましたところ、体調を考慮しながら働ける場所に勤めることができました。

▽今月は企業実習に行っている方が3名いらっしゃいました。販売系の品出し、軽作業の業務などです。実際の企業へ通い、どんな仕事をしているのか、どんな雰囲気のか、自分には合っているのかを体験しました。この中から応募したいと思える会社があれば、応募していきます。実習中は緊張しながらも、お仕事ががんばっていました。



編集部まえがき

もう、節分の季節になった。どの家も窓なり玄関なり開けて「福は内、鬼は外」と声が響く。3分も満たない時間、まるで音楽祭のように人の声と豆の音の合唱が聞こえてくる。年に一度しか体験できないこの瞬間をこれからも大事にしていきたい。

## くま de レポート

「私たちは常に生きている。そして、趣味に生きている。」

それぞれの個性を育てる趣味について3人のメンバーが語ってくれました。

### ■Aさん

私は読書が好きだ。しかしここ数年は本から離れた。原因は何だったのだろう。心身の不調か、実家の引っ越しで蔵書を数冊処分したからか。そんな私がまた本を読むようになった。平均して1ヶ月に2冊ほど読んでいます。

そのきっかけはチャレジョブの「利用者支援サービス」を利用するようになったから。本は借りることができ、持ち帰って読むこともできる。本の保管場所と購入費を考えずに済むのがある。本屋からは足が遠のいていたが、用もなく立ち寄る機会が増えた。久しぶりに潜った活字の海はとて心地向かい。自分で購入してもよいと思える本にも数冊出会うことができた。さて次は何を読もうか。



Aさんを象徴する本の数々

### ■Bさん

「まるで君の横顔は星座のようだった。」

私は作詩が生きがいであり、15年ほどの趣味と なっています。ただ目に見える情景を切り取るだけでなく、瞬間の温度や湿度までも感じ取れるような言葉の鮮度にいるのです。20歳を超えた頃に心の病を患い、私から見える世界は全てが少しだけ暗くなりました。ただそれは私にとって作詩する際には物事を「暗い場所から明るい場所を見る」ように、様々な角度で見られるようになるという一つの個性になったのです。とても言葉では表現しづらい物をどう言葉で表現するか、という念頭に私は今日も執筆をつづけています。私自身が生きて来た証拠を残すための矜持(きよんじ)です。2025年は本を2冊自費で出版し個人的に納得のいくものができました。間違いなくチャレジョブに通っていただければ達成できなかった事です。星のように輝くメンバー1人1人も欠けてはならぬ存在なのです。おそらくこのチャレくま通信も私にとって、皆の力を結集して作られた星座の様なものなのかもしれません。

### ■Cさん

広報部員と申します。私は趣味で料理をしており、毎日なにかしら作っています。



生きるための様々な趣味

最近ではスマホやタブレットを使って、様々な料理のサイトを見たり、動画を観たりして簡単に調理できるものを探しています。実際に作ったりして残ったのは「キャベツと豆腐のお好み焼き」です。ヘルシーかつ、腹持ちがいいのでおすすめです。定番のソース&マヨネーズで食べるのも美味しいですが、具材としてツナと塩昆布、もしくは、ほぐしチキンと塩昆布の組み合わせで入れます。食感が変わり、個人的にはソースなしで美味しく食べることができました。ソースとは違った旨みがダイレクトに全身に巡って、箸が止まらなくなりますが、この記事が気になったら、キャベツと豆腐のお好み焼きで検索してみてください。